

はじめに、先日配布した課題の中の漢文に、返り点を付け忘れてしまいました。申し訳ありませんでした。今回は、漢文を読む復習と、三年生になって新しく学習することをおさえましょう。あわせて、教科書では扱われていない論語の内容もいくつか紹介します。漢文の課題はワークと合わせると長いので、  
目標

- ① 漢文の返り点（レ点・一二点・上下点）について、理解する。
- ② ワーク（よくわかる国語の学習）を解き、教科書の内容の理解を深める。

★漢文は、この課題以外にも、『よくわかる国語の学習3』の十七〜二十二ページを、教科書二十二〜三十四ページを見ながら必ず解いてください。長くなるので、時間配分はお任せします。

**孔子**

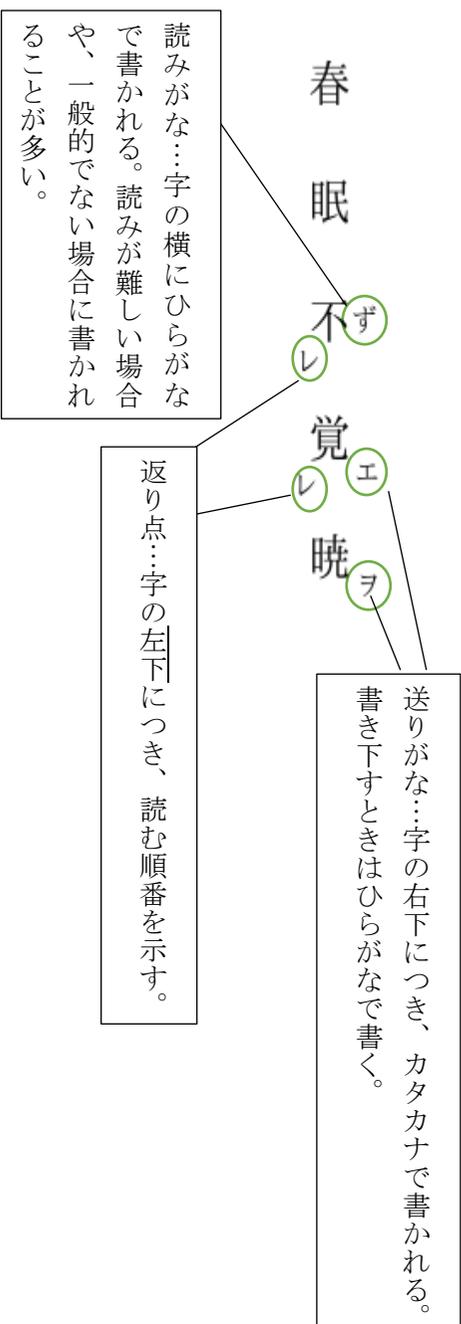
…二千五百年以上前の古代中国の**思想家**。当時の中国は戦乱が続いていたが、それを治めるために人格や道徳心を高めて政治を行うことを説いた。**儒教**という、学問や思想をまとめた教えを始めた。「孔子」というのは尊称（＝そんしょう）。ある人に対して敬意をこめた呼び方）であり、本名は孔丘（こうきゅう）。「子」は男性に対しての尊称。ここでは「先生」のような意味。

**論語**

…孔子の死後、孔子と弟子たちとの会話をまとめたもの。孔子が書いた書物ではない。論語は日本でも古くから親しまれ、日本に伝来したのは**5世紀前後**と言われる。日本書紀によれば、**仏教**が日本に伝来したのが五百五十三年と言われており、儒教はほぼ同時期か、それよりも早く伝わっている。飛鳥〜平安時代にかけては、日本の政治や役人の学習にも論語が用いられた。江戸時代においても儒教は政府主導で武家に浸透した。今日でも論語は毎年新書が出版され、多くの読者がいる。

**復習**

漢文は元々が中国語であるため、日本の順番で読むために送り仮名と読み仮名、返り点が付きます。



上から読み、左下に何も書いていない字から読むのが鉄則です。

※関連動画を観たい人…youtube 「訓点(送り仮名・返り点)」で検索するか、QRコードを読み取る

少し内容は違いますが、「【漢文】漢文の基本1 基本の語順」で検索 or



それぞれの文の名称を覚えていきますか？

白文(はくぶん)

中国の漢字で書かれた、そのままの文章。

歳 月 不 待 人

訓読文(くんどくぶん)

日本語の語順に近づけて、句読点、返り点、送りがなをつけた文章。

歳 月 不 待 人。

書き下し文(かきくだしぶん)

訓読したものを、漢字、仮名交じりで書いた文章。

歳月は人を待たず。

※書き下し文は歴史的仮名遣いで書く。また、「不」などの助詞、助動詞(付属語)それだけで文節を作れない語)はひらがなで書く。「と」、「の」、「ず」、「ざる」などが多く出てきます。

レ点

レ点がある場合、その下にある字を先に読み、そのあとレ点がついている字を読みます。

① 守 法 ↓ 法を守る

② 男 眠 野 ↓ 男 野で 眠る

③ 春 眠 不 覚 曉 ↓ 春眠 曉を 覚えず

レ点が続いていても、法則は変わりません。下から上にあがっていくように読んでください。

一・二点

レ点は、一字ずつしか読む順番を変えられません。一・二点は、二字以上読んでから後ろに戻りたいときに使います。先に二と一で先に読みたい字をはさみます。

必ず二点が出てくるので、いったん飛ばして一点まで読み、そのあと二点がついている字を読みましょう。

① 思 故 郷 ↓ 故郷を 思ふ。

② 我 食 朝 食 ↓ 我 朝食を 食べる。

※発展として、一レ点があります。レ点の効果が優先なので、下一字を先に読み、そのあと二点のところまで戻る読み方です。

※関連動画を観たい人… youtube 「返り点①」で検索するか、QRコードを読み取る

練習問題 その一 レ点と二点を復習しましょう。答えは後ろです。



① 有 備 無 患 ↓

② 不 合 理 ↓

③ 良 藥 苦 於 口 ↓

※「於」||置き字…日本語では読まない字。書き下しでは書かない。

- ④ 百 聞 不 如 一 見 ↓  
⑤ 疑 心 生 暗 鬼 ↓  
⑥ 宋 人 有 耕 田 者 ↓  
⑦ 我 見 鳥 不 鳴 ↓  
⑧ 従 心 所 欲 ↓

**上下点**

：レ点と一・二点だけでは日本語として正しく訳せない場合に使います。

必ず下点が先に来て、上点が後に出てきます。下点と上点の間に必ず一・二点があります。

①下点はいったん飛ばす。

②先にレ点や一・二点を読む。

③上点を読んだら、最後に下点がついている字を読む。

教科書の文で練習しましょう。

有 朋 自 遠 方 来

「有」には下点がついているので一度とばします。最初に読むのは、左下に何も書いていない「朋」です。次の「自」には二点があるので、これもとばして一点まで「遠方」を読み、二点の「自」に戻ります。その次は上点がついている「来」を読み、最後に下点に戻って「有」を読みます。よって

「朋遠方より来たるあり」

となります。（※「有り」を「あり」とひらがなで書くことは諸説ありますが、ここでは大きく扱いません。「有り」でも正しいものとします。）

**練習問題その二**

- ① 我 知 見 美 鳥 者 ↓  
② 悪 称 人 之 悪 者 ↓

最後は、上下点と一レ点の混ざった発展問題です。一年生の時に学習した、「矛盾」の一文目です。

③ 楚 人 、 有 鬻 盾 与 矛 者

↓

問題は以上です。※関連動画を観たい人は、[youtube](#)で「[返り点②](#)」と検索



四分五十秒までが参考になります。

練習問題その一の答え

- ① 備へ有れば患ひ無し
- ② 理に合はず
- ③ 良薬は口に苦し
- ④ 百聞は一見に如かず
- ⑤ 疑心暗鬼を生ず
- ⑥ 宋人に田を耕者有り
- ⑦ 我鳥の鳴かざるを見る
- ⑧ 心の欲する所に従ふ。

練習問題その二の答え

- ① 我美しき鳥を見る者を知る
- ② 人の悪を称する者を悪む
- ③ 楚人に、盾と矛とを鬻ぐ者有り。

その他の孔子の教えについて紹介。意味を考えながら読んでみてください。挑戦したい人は書き下し文を考えながら読んでみましょう。ワークの二十、二十一ページも参考になります。

- ① 子曰、過而不敢、是謂過矣

↓子曰はく、過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ。

“孔子先生がおっしゃった。過ちを犯したのにすぐ反省して改めない。これが真の過ちだ。”

- ② 子貢問曰、「有一言而可以終身行之者乎。」

子曰、

「其恕乎。己所不欲、勿施於人。」

↓子貢問ひて曰はく、「一言にして以つて終身之を行ふべき者有りや。」と。

子曰はく、「其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」と。

“子貢（孔子の有名な弟子）が質問した。「一生をかけてやりとげる価値がある言葉（もの）はありますか？」孔子先生はおっしゃった。「それは恕（＝思いやり）だね。自分がされていやなことは人にはしてはいけないということだよ。」

色々と紹介したいものがありますが、膨大な量になります。興味がある人は、ぜひ「論語 全文」と検索してください。現代語訳のついたサイトがたくさん出てきます。



繰り返しになりますが、漢文は、この課題以外にも、『よくわかる国語の学習3』の十七〜二十二ページを、教科書三十二〜三十四ページを見ながら必ず解いてください。

ふりかえり あてはまるものに○をしましょう。

- ① 漢文の返り点（レ点・一二点・上下点）について、理解できた。

あ、できた い、まあままできた う、あまりできなかった え、できなかった

- ② ワーク（よくわかる国語の学習）を解き、教科書の内容の理解を深めることができた。

あ、できた い、まあままできた う、あまりできなかった え、できなかった

**感想** おつかれさまでした。漢文は難しかったですか？また、孔子について何か考えたことはあったでしょうか。

何かあれば書いてください。